



Twelve Hundred

User's Manual

Manuel de l'utilisateur

Anwenderhandbuch

Manuale per l'operatore

Manual del usuario

取扱説明書

中文使用手冊

Antecでは常に高品質を保つために商品の改良を行っております。そのためお客様のケースがマニュアルに示される詳細と若干異なることがあります。ご使用上の問題はございません。こちらのマニュアルの出版時点では、記載されている詳細、説明は正確な内容になっております。

免責条項

こちらはAntecコンピューターケース専用のマニュアルになっております。マザーボード、周辺機器などの取り付けに関する詳しい情報は、お手持ちの製品に同梱されているマニュアルをご参照ください。

Twelve Hundred ユーザーマニュアル

Twelve Hundred - ゲーミングケース

Twelve Hundredには、電源が搭載されておりません。お手持ちのシステムに対応可能な電源をお選びいただき、ケーブル等がマザーボード、周辺機器に十分届くかをご確認ください。弊社では、最新のATX規格に対応した省エネ設計のTruePower Quattro、TruePower Trio、NeoPower電源をお勧めいたします。

ケース内の安全性に配慮して鋭い角等に対しては、対策を施してありますが作業をされる際には、十分に時間を取り必要な安全措置をとることをお勧めします。とりわけ見づらい場所への作業等には、むやみに急いだり、不注意な動作をしたり、必要以上に力を加えることはお止めください。予め十分に注意をした上で作業をしてください。

ご注意: Twelve Hundredには、上部ストレージトレイが搭載されています。Antecでは、こちらに液体を含むもの(飲み物、ろうそく、香水等)を置かないようお勧めします。パーソナルメディアプレイヤー、デジタルカメラ、鍵、硬貨等はこちらのトレイに置くことができます。

セットアップ

1. 平らで安定した場所にケースを置いてください。(電源や拡張スロットのある側が手前になります。)
2. サイドパネルから手回しネジを取り外してください。手前へサイドパネルをスライドさせながら、ケースを開いてください。備考: 手回しネジを安全な場所に保管してください。このネジはHDDケージのネジとは共用できません。
3. 同様にもう一方のサイドパネルから手回しネジを取り外してください。手前へサイドパネルをスライドさせながら、ケースを開いてください。手回しネジを安全な場所に保管してください。ケース内には、ケース下部後方に電源マウント、3つのHDDケージを内蔵した5.25" ドライブベイエリアがあります。また、印の付いたコネクタ付きケーブル(USB、PWR等)、取り付け済みのI/Oパネル、ハードウェアを含むツールボックス(ネジ、スペーサー等)があります。
備考: 危険ですので爪を使って、サイドパネルを取り外さないでください。

マザーボードのインストール

このマニュアルには、CPU、メモリ、その他拡張カードの取り付け方法は含まれておりません。特定のパーツの取り付け方法やトラブルシューティングに関しては、お持ちのマザーボードのマニュアルをご参照ください。

1. サイドパネルを取り外した側を上にして、ケースを置いて下さい。



2. I/Oパネルがお持ちのマザーボードに合っていることを確認してください。予め取り付けられているI/Oパネルがお持ちのマザーボードに合わない場合は、マザーボードメーカーにお問い合わせください。



3. マザーボードをスペーサー用の穴にあわせて置いて下さい。どの穴と一致しているかを覚えておいてください。全てのマザーボードがこれらの穴に一致するとは限りません。スペーサー用の穴は、一般的な配置になっていますので、機能面では影響がありません。

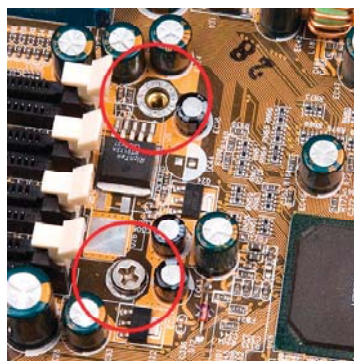


4. マザーボードを持ち上げ、ケースから出してください。
5. スペーサーを先ほどマザーボードと合わせた穴に設置してください

6. 取り付けしたスペーサーの上にマザーボードを置いてください。同梱されている十字のネジでマザーボードをスペーサーに固定してください。

7. これでマザーボードの取り付けが完了します。

8. 水冷システムを取り付ける際には、ケース後面のゴムグロメットホースポートからホース等を通す必要があります。また、マニュアルの終わりにあるポンプ・リザーボアプラットフォームに関する記述も確認してください。



電源の取り付け

1. ケースを直立させ、電源をケース底部の4つのシリコンパッドの上に置いてください。
備考: 底部にファンが搭載されている電源は、ファンが上部に向くように取り付ける必要があります。Twelve Hundredは、電源マウント用の穴は、通常どおりでも、上下が逆でも取り付けられるように設計されています。
2. 電源を奥まで押し込み、マウント用の穴に合わせてください。
3. 電源に同梱のネジで電源を固定してください。



ポートとLEDの取り付け

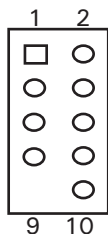
備考: お手持ちのマザーボードのマニュアルを参照し、特定のピンレイアウトやフロントパネルコネクタの位置をご確認ください。

1. リセットスイッチ (RESET SWのラベル付き) を、マザーボードのRSTコネクタに接続します。これらのスイッチは極性 (プラス・マイナス) は関係ありません。
2. 電源スイッチ (POWER SWのラベル付き) を、マザーボード上のPWRコネクタに接続します。
3. このケースには電源LEDはありません。電源がオンになると3つのケースファンが光ります。
4. H. D. D. LEDと書かれたハードディスクLEDコネクタをマザーボードのIDEコネクタに接続します。すべてのLEDコネクタのプラス (+) 側の線には色が付けてあります。LEDが点灯しない場合は、極性を入れ替えて接続してみてください。LED接続に関する更に詳しい情報は、お手持ちのマザーボードのマニュアルをご参照ください。

USBポートの取り付け

備考: お手持ちのマザーボードのマニュアルを参照し、USBヘッダーのピンの配置が以下の表に一致することを確認してください。一致しない場合は、販売店にご相談ください。

USBコネクタのピン配置



ピン	信号名	ピン	信号名
1	USB電源1	2	USB電源2
3	負の信号1	4	負の信号2
5	正の信号1	6	正の信号2
7	接地1	8	接地2
9	キー (接続なし)	10	空のピン

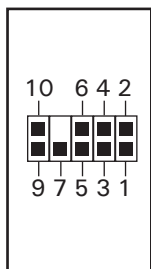
eSATAポートの取り付け

eSATAコネクタケーブルがフロントポートに取り付けられています。この内部eSATAコネクタは、マザーボード用の標準のeSATAコネクタになっています。これによりAntec MX-1等の外付けHDDケースが内蔵ハードディスクと同等のスピードで動作します。

オーディオポートの接続 (AC'97及びHDA)

フロントパネルスピーカーおよびマイクロフォン接続から出ている、Intel®標準10ピンAC'97コネクタ及びIntel®標準10ピンHDA（ハイディフィニションオーディオ）コネクタがあり、マザーボードに対応するいずれかの1つをマザーボードに接続することができます。以下の詳細をご参照ください。

オーディオポートのピンレイアウト (HDA及び AC'97)



ピン	ピン配置 (HD AUDIO)	ピン	ピン配置 (AC'97 AUDIO)
1	MIC2 L	1	MIC In
2	AGND	2	GND
3	MIC2 R	3	MIC Power
4	AVCC	4	NC
5	FRO-R	5	Line Out (R)
6	MIC2_JD	6	Line Out (R)
7	F_IO_SEN	7	NC
8	Key (no pin)	8	Key (no pin)
9	FRO-L	9	Line Out (L)
10	LINE2_JD	10	Line Out (L)

マザーボード及びサウンドカードの内部オーディオコネクタの位置を確認してください。ピン配置については、マザーボード、ビデオカードのマニュアルをご参照ください。

フレクシードライブベイシステム

Twelve Hundredは、12つの外部 5.25” ドライブベイがケース前面に搭載されています。底部の9つの5.25” ベイ内部には、3つのHDDケージがあらかじめ取り付けられています。各HDDケージは、連続した3つの5.25” ドライブベイを占有し、3台のHDDが搭載可能です。HDDケージは、この外部ベイの内部であればどこにでも取り付けが可能であり、最大限にこの柔軟性を活用することができます。（底部の9つのベイに限りません。）

組み合わせ可能なドライブベイのコンビネーション（以下に限りません。）：

- ・ 外付け 3 x 5.25” + 内部 9 x HDD - 標準
- ・ 外付け 6 x 5.25” + 内部 6 x HDD - 1つのHDDケージを取り外した際
- ・ 外付け 9 x 5.25” + 内部 3 x HDD - 2つのHDDケージを取り外した際
- ・ 外付け 12 x 5.25” - 3つのHDDケージを全て取り外した際

備考：HDDケージのいずれかには、ミドルファンブラケットが予め取り付けられています。HDDケージをグラフィックカードやCPU用の冷却ダクトとして使用する際は、このブラケットに120mmファンを取り付けることにより、空気がケース内に吸気されます。これによりファンを取り付けたHDDケージには、HDDを取り付けることができなくなります。HDDを取り付ける際には、このミドルファンブラケットを取り外してください。

- ・ 外付け 3 x 5.25” + 内部 6 x HDD + 冷却ダクト - ミドルファンをいずれかのHDDケージを取り付けた際（冷却システムを参照）
- ・ 外付け 6 x 5.25” + 内部 3 x HDD + 冷却ダクト - ミドルファンをいずれかのHDDケージを取り付けた際（冷却システムを参照）

外部5.25” デバイスの取り付け

備考 HDDケースは、連続した3つの5.25” ドライブベイを占有し、場合によっては光学ドライブ等の大きなデバイスと干渉することがありますので、前もってデバイスの取り付けを計画してください。

1. 両側のサイドパネルをセットアップの項目にある通り、取り外してください。
2. 適切な金属ドライブベイカバーのネジを両側から取り外してください。
3. カバーを取り外してください。



4. 必要であれば、取り付け済みのHDDケースも取り外してください。
5. ケース全部から5.25” デバイスを挿入してください。

6. ドライブに同梱されているネジで固定してください。
7. 電源から適切なコネクタを取り付けてください。
8. その他のデバイスも同じように取り付けてください。



3.5” デバイスの取り付け

1. 両側のサイドパネルをセットアップの項目にある通り、取り外してください。
2. 5.25” ドライブベイに取り付けてあるHDDケースのネジを取り外してください。ネジは安全な場所に保管してください。

備考: HDDケースの手回しネジとサイドパネルの手回しネジを混同しないでください。それぞれ異なるものです。

3. HDDケースをケース前面に向かって押し出し、ケースを取り外してください。
4. ツールバッグに同梱されている長いネジを使用し、HDDをケースに取り付けてください。



5. 他のHDDにも同じ作業を繰り返してください。
6. HDDケースをケースに挿入して戻し、手回しネジで固定してください。
7. 電源及びマザーボードからの電源コネクタやインターフェースコネクタをデバイスに接続してください。接続の際は、ケーブルに多少の緩みを持たせてください。それによりファンフィルターの清掃の際に容易にアクセスができます。
8. ケースには120mmファンが予め取り付けられています。4ピンファンコネクタを電源に取り付けてください。

外部3.5” ドライブの取り付け

1. 両側のサイドパネルをセットアップの項目にある通り、取り外してください。
2. 外部3.5” ドライブを取り付けるドライブベイカバーを取り外してください。
3. 外付け3.5” デバイスをアダプターに取り付けてください。



4. ドライブアダプター・アセンブリーをベイにスライドさせて取り付けてください。



5. アダプターをドライブケースにネジ止めしてください。
6. フェースプレートをネジで固定してください。



ケーブルマネジメント

マザーボードと右側のサイドパネルの間には、ケーブルマネジメントコンパートメントがあります。

1. 両側のサイドパネルを取り外して下さい。
2. マザーボードトレイの裏側に配線したいケーブルを穴から通し、電源側のチャンネルからケース右側に引き出してください。
3. 取り付けられている結束バンドを利用してください。
4. ケーブルの行き先近くの挿入ポイントからケーブルを通して接続します。接続したケーブルの余りをケースの右側に引き戻しておきます。

クーリングシステム

BigBoy 200mmファン

Antecでは、ユーザーがより冷却性の高いゲーミングシステムを希望されていると考えています。そのためTwelve Hundredでは、BigBoy 200mmファンを搭載しています。このファンは、3可変速で必要に応じ、最適な回転速度を設定できます。デフォルトではLowの設定になっています。



200mmファン詳細:

サイズ: 200 x 30mm 3可変速ファン

定格電圧: 12V DC

起動電圧: 10.8V ~ 13.2 V

スピード	入力電圧	エアフロー	静圧	音響雑音	入力
高 800RPM	0.3A (最大)	3.799 m ³ / min (134 CFM)	0.69mm-H2O (0.027インチ-H2O)	30 dBA	3.6 W
中 600RPM	0.17A	3.07 m ³ / min (108 CFM)	0.40mm-H2O (0.016インチ-H2O)	27 dBA	2.04 W
低 400RPM	0.08A	2.34 m ³ / min (82 CFM)	0.2mm-H2O (0.008インチ-H2O)	24 dBA	0.96 W

フロントTriCool™ ファン:

Twelve HundredではHDD冷却用として、それぞれのHDDケージの前にブルーLEDを搭載した3つの120 x 25mm TriCool™ Blue LED ファンが取り付けられています。こちらのファンにより、ケース内への吸気が行われます。ケース前面のフェースプレートにはそれぞれのファンをコントロールするノブが付いています。時計回りにノブを回すことで、回転スピードが増します。最低スピードは1200rpmで、最速スピードは2000rpmです。以下の表を参照し、適切な設定を選択してください。

後部排気用TriCool™ファン:

ケース内後部には、2つの120 x 25mm TriCool™ ブルー LEDファンが予め取り付けられています。このファンにより、ケース内から空気が排気されます。それぞれのファンは、3可変速のスイッチが搭載され、静音パフォーマンスから最大冷却の用途に合わせて速度が選択できます。これらのスイッチは、ケース背面に取り付けられています。初期の速度設定は、Lowになっています。

120mmファン詳細:

サイズ: 120 x 25mm TriCool™ ファン

定格電圧: 12V DC

起動電圧: 10.2V ~ 13.8V

スピード	入力電圧	エアフロー	静圧	音響雑音	入力
高 2000 RPM	0.24A (最大)	2.24 m ³ / min (79 CFM)	2.54mm-H2O (0.10インチ-H2O)	30 dBA	2.9 W
中 1600 RPM	0.2A	1.59 m ³ / min (56 CFM)	1.53mm-H2O (0.06インチ-H2O)	28 dBA	2.4 W
低 1200 RPM	0.13A	1.1 m ³ / min (39 CFM)	0.92mm-H2O (0.04インチ-H2O)	25 dBA	1.6 W

備考: これらのTriCool™ファンは、3 可変速の切り替えてで静音(Low)、パフォーマンス(Medium)、マキシマム(High)の速度が選択可能です。

備考: 通常、ファンが動作する最低電圧は5Vです。Antec電源等にあるファンコントロールやFan-Onlyコネクタを利用する際は、ファン速度を最大冷却のHighに設定することをお勧めします。ファンコントロールデバイスは、ファン速度を電圧の変化によって制御します。最小で4.5Vから5Vの間で電圧がかかるため、TriCoolをMedium(パフォーマンス)あるいはLow(静音)に設定し、ファンコントロールデバイスに接続するとファンが始動しないことがあります。ファンコントローラーですでに減圧された電圧が更にTriCoolの回路にて5V以下になることがあります。

オプションファン

このケースには、オプションとして2つの120mmファンマウントが搭載されています。サイドパネル(左)のファンマウントとHDDケージ後部端のファンマウントがあります。これらのファンには、Antec 120mm TriCool™にてLowの設定でご使用いただくことをお勧めします。これらのファンマウントにファンを取り付けることにより、空気がケース内部へ吸気されます。

サイドファン - グラフィックカード冷却を促進するためにサイドファン通気孔があります。サイドパネル上のファンブラケットにファンを取り付けることにより、空気がケース内に吸気されます。

ミドルファン - どのドライブベイにHDDケージを取り付けるかによって、CPU、グラフィックカード、電源等を冷却するミドルファンを取り付けることができます。ハードドライブを取り付けないドライブケージにミドルファンを取り付けることができます。この設計は、とりわけデュアルグラフィックカードを冷却する際に最適です。

1. ブラックミドルファンマウントを取り外すには、ベイとドライブケージを固定しているクリップ部を押し込みながら取り外してください。



2. 120mmファンをブラケットに押し入れて、マウントとファンのネジ穴を合わせてください。
3. 同梱の長いネジを利用してマウントにファンを取り付けてください。ネジを締めすぎないように注意してください。
4. ファンマウント側面にあるケーブルガイドに電源ケーブル (TriCool™を使用する際はコントロールスイッチも) を通してください。



5. 取り外したケージにブラケット部のアセンブリーを取り付けてください。
6. ファンの電源を電源に接続してください。



洗淨可能なエアフィルター

フロントエアフィルター

HDDケースのフェースプレートの裏にはフィルターが取り付けられています。合計で3つのフロントエアフィルターが標準搭載されています。

フィルターを清掃するには：

1. 5.25” にHDDケースを取り付けている手回しネジを取り外し、安全な場所に保管します。
2. HDDケースはケースの全面に向かって2.5センチから5センチほどずらします。フェースプレートの後ろのエアフィルターが確認できます。
備考：エアフィルターを清掃するために電源やデータ用のコネクタをHDDやファンから取り外す必要はありません。前もって、取り付けの際にケーブルに5センチほどの余裕を持たせておいてください。
3. フィルターのタブをつまみ上げ、フィルターを取り外します。

サイドエアフィルター - サイドファンブラケット内にはエアフィルターがあります。アクセスするには、サイドパネルを取り外す必要があります。ブラケットからスライドさせるようにフィルターを取り外します。

定期的にフィルターの洗淨が必要です。フィルターの洗淨を行わないと、ケース内の温度が上昇し、システムの安定性に影響があることがあります。御使用当初は、月に一回フィルターを確認されることをお勧めします。洗淨の頻度は、システムの利用頻度及び利用環境により異なります。24時間、常時システムが稼動している場合は、その他の場合と比較し、さらにフィルターの確認及び洗淨が必要になります。

水冷プラットフォーム

このケースは、5.25” の金属プレートが5.25” ドライブの3段目に取り付けられています。このプレートは、水冷ポンプやリザボア等を取り付けることができるように設計されています。このプレートは、12個の5.25” ドライブベイのいずれにも取り付けることができるフレキシブルな設計になっています。

備考：お手持ちの水冷キットに対応するためには、ドリル等で必要な穴を開けて水冷キットを取り付ける必要があります。

Antec, Inc.

47900 Fremont Blvd.
Fremont, CA 94538
USA
tel: 510-770-1200
fax: 510-770-1288

Antec Europe B.V.

Stuttgartstraat 12
3047 AS Rotterdam
The Netherlands
tel: + 31 (0) 10 462-2060
fax: + 31 (0) 10 437-1752

Customer Support:

US & Canada

1-800-22ANTEC
customersupport@antec.com

Europe

+ 31 (0) 10 462-2060
europe.techsupport@antec.com

www.antec.com